

電気計算 2017年9月号 (Vol.85 No.9) 正誤表

頁	行・箇所	誤	正
104	問 18 (a) 3 行目	電源直流波形	電源電流波形
	問 18 (a) 選択肢(3)(4)(5) 直流出力電圧波形		
	問 18 (b) 2 行目	$\frac{1}{\pi} \int_{\alpha}^{\pi} \sqrt{2} V \sin \theta d\theta = \frac{\sqrt{2} V}{\pi} (1 + \cos \alpha)$	$\frac{1}{\pi} \int_{\alpha}^{\pi+\alpha} \sqrt{2} V \sin \theta d\theta = \frac{2\sqrt{2} V}{\pi} \cos \alpha$
	問 18 (b) 選択肢(4)(5)	(4) 8.40 (5) 8.50	(4) 7.80 (5) 7.90
130	問 18 解説	<p>(解答(a)-(5), (b)-(4)はそのまま, 解説を以下に差換え)</p> <p>(a) 電源電圧 v の正の半サイクルにおいて, $\theta = \alpha$ でサイリスタ T_1, T_4 を点弧すると, 直流出力電流 i_d は電源 $\rightarrow T_1 \rightarrow L \rightarrow R \rightarrow T_4 \rightarrow$ 電源の経路で流れ, 直流出力電圧 e_d は v となる. i_d はリアクトルに蓄えられたエネルギーを放出するために $\theta = \pi$ で電源電圧 v が 0 になっても流れ続ける. 次に $\theta = \pi + \alpha$ でサイリスタ T_2, T_3 が点弧されるまでこの経路で流れ続けるので $\theta = \pi$ から $\theta = \pi + \alpha$ までの期間直流出力電圧 e_d は負となる. $\theta = \pi + \alpha$ でサイリスタ T_2, T_3 が点弧されると i_d は電源 $\rightarrow T_3 \rightarrow L \rightarrow R \rightarrow T_2 \rightarrow$ 電源の経路で流れ, 直流出力電圧 e_d は $-v (> 0)$ となる. $\theta = \pi + \alpha$ から $\theta = 2\pi + \alpha$ まで同様の波形となる. したがって直流出力電圧の波形は(3), (4), (5)となる.</p> <p>直流出力電流は平滑リアクトルが十分大きいので $(0 \sim 2\pi)$ の間, 一定値となる.</p> <p>電源電流は交流であるので(5)が正しい.</p> <p>したがって直流出力電圧, 電源電流波形は(5)となる.</p> <p>(b) 直流出力電圧 e_d [V] の平均値を E_d [V], 電源電圧を $v = \sqrt{2} V \sin \theta$ [V] とすると, 直流出力電圧の平均値 E_d は公式より</p> $E_d = \frac{1}{\pi} \int_{\alpha}^{\pi+\alpha} \sqrt{2} V \sin \theta d\theta = \frac{2\sqrt{2} V}{\pi} \cos \alpha$ <p style="text-align: center;">$V = 100$ V, $\alpha = 30^\circ$ を代入して計算すると</p> $E_d = \frac{2\sqrt{2} V}{\pi} \cos \alpha = \frac{2\sqrt{2} \times 100}{\pi} \cos 30^\circ = \frac{2\sqrt{2} \times 100}{\pi} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = 77.97$ <p>したがって, 直流出力電流 i_d [A] の平均値 I_d [A] は</p> $I_d = \frac{E_d}{R}$ <p style="text-align: center;">$R = 10 \Omega$ を代入すると</p> $I_d = \frac{77.97}{10} = 7.797 \approx 7.80$	